

在家仏教講演会 開催ご案内

東京 時間：午前10時～11時30分
会場：中野サンプラザ7階研修室10（中野区中野4-1-1）
会場整理費：1,000円（4月より）
お問合せ：03-6684-6692

- 3月13日（土） コロナウイルス感染拡大のため延期
3月28日（土） コロナウイルス感染拡大のため延期
4月11日（土） これからの仏教—医療現場で求められる老病死を超える仏教
田畑正久 先生 佐藤第二病院院長・元龍谷大学教授
5月9日（土） デス・エデュケーションのすすめ—「いのちの満足」を得るために
田代俊孝 先生 仁愛大学学長
6月13日（土） これからの仏教
加藤みち子 先生 東方学院講師
9月12日（土） これからの仏教
竹村牧男 先生 東洋大学学長
10月10日（土） これからの仏教
木村清孝 先生 東京大学名誉教授
11月14日（土） これからの仏教
阿満利磨 先生 明治学院大学名誉教授
12月12日（土） これからの仏教
佐藤 研 先生 立教大学名誉教授

大阪 時間：午後3時～4時30分
会場：堂島アバンザ5階会議室（北区堂島1-6-20）
会場整理費：500円 お問合せ：06-6346-7000

- 3月6日（土） コロナウイルス感染拡大のため延期
5月15日（金） 演題未定
西山 厚 先生 帝塚山大学教授

いのち尊し

第35号
いのち尊し
令和2年3月1日
公益社団法人
在家仏教協会
〒101-0062
東京都千代田区
神田駿河台3-3
五明館ビル202号
TEL 03-6684-6692
FAX 03-6684-6709

輪読会「鈴木大拙を読む」報告八

「霊性」のまじり深々

阿部俊一（協会会員）

鈴木大拙との縁は二〇一六年に「大拙松ヶ岡文庫仏教講座」に...

大拙は《平安時代の「みやびおとこ」は「物のあわれ」を感ずる...

大地の具体性がすなわち一人の具...

幾多郎・大拙—大地文学』などの...

また、鎌倉の松ヶ岡文庫に登る...

《これは実に親鸞聖人の個己の...

難解な本書を読むにあたり、言...

鈴木大拙は「ZEN」を広める...

\*

せられるが一番手近なのである。

『評論 評論賢治・

ありますがどうぞいます。合掌。

この一冊

石上善應著「仏像入門」  
ちくま学芸文庫

相澤一男  
(協会会員)

著者の仏像遍歴は、半世紀に及ぶ。「一人の仏教徒が仏教の知識を身につけていくうちに、仏像に魅かれ、自由に散策を繰り返しながら、対面を続けて、ついつい深入りした」と。その長い遍歴の中で、とくに心に残った仏像をえらび、伸びやかに語られたのが本書である。

原則だが、書中に会津八一、萩原朔太郎、宮澤賢治などの作品が引かれていることから窺えるように、文芸美術に深い素養のある著者の筆は、おのずから仏像の広く豊かな世界を描きだすことになった。

まずはじめは、福島県いわき市の白水（しらみず）阿弥陀堂である。平泉に栄えた藤原三代のうち最も充実安定した秀衡の時代、秀衡の妹が岩城氏に嫁いで建立したといわれる。

蓮の花が咲く広い池を前面にした国宝の阿弥陀堂は、まことに優雅な姿で、平泉仏教文化の余栄をしのぶにふさわしい。

ご本尊の阿弥陀仏もまた、いかにも柔和でその眼の温容はとくにすばらしい、と著者は感嘆を惜し

まれない。

ついで法隆寺百済観音や興福寺阿修羅像、更に鎌倉大仏や円空仏など著名な仏像が続く中に、薬師寺東塔の水煙の天女や大仏殿前八角灯籠の音声菩薩をとりあげておられるのは、著者の広い目配りが感じられる。

とりわけ異色は、無名の石工の刻んだ石仏がある。若杉慧氏の写真で見えて感激、調べたら近くの縁ある寺の石仏だったという。「み仏は実に身近に生き続けておられる。ただ人間の愚かさがそれを知らずに模索している」ことを切実に教えられた、と。

著者は「み仏と対面し、つぶやきともいえる語らいを自分自身に問いかけただけ」といわれるが、それが自然に仏法を説く言葉となっているところに、本書の特色があるといえよう。



これからの働き方を次のように提案されております。

「働くことの意味を説くのに、同時にこの世で遊ぶことの意味を考えてみる。ボランティアのようなものを想定すると、働くことと遊ぶことの新しい融合もあるでしょう。働く機会を奪うほどに効率を重視する競争社会を超えていくために、かつて宗教が教えてくれたような人類の知恵が必要とされているのではないのでしょうか。・・・そうした考え方がもっと力を持つてくると、宗教と労働の関係が再び調和的に理解されることもありうるのではないかと思っております。」

原稿をお待ちしています

◇「仏教と私」(八百字以内)  
人生を振り返って仏教と出逢ったときの感動をお書きください。  
◇読者からの手紙(八百字以内)  
講演会(講演録)の感想などをお書きください。

◇コラム「この一冊」(八百字以内)

感銘を受けた書籍を紹介してください。新刊だけでなく、思いついた本も歓迎します。著者名、出版社名、発行年を忘れずに。

\*

原稿用紙またはメールに添付して、左記宛てにお送りください。住所、氏名、電話番号、よろしければ職業と年齢もお書きください。読みやすくするため、あるいは編集上の都合で、趣旨を変えない範囲で削ったり直したりする場合があります。採用分には薄謝をお送りします。

原稿の送り先は、〒101-0006 東京都千代田区神田駿河台三二二 五明館ビル 二〇二 在家仏教協会「いのち尊し」係。メールはkaminura@zaikobuk.kyo.com.jp。

の40%が限度ー2,000円」を控除することができます。

事例

年中の総所得金額が500万円、寄附金の合計額が20万円の場合  
20万円ー2,000円＝19万8,000円が、総所得金額より控除されます。

★法人税

法人が支出する寄附金は、その法人の資本金等の額、所得の金額に応じた一定の限度額までが損金に算入されます。このとき、公益法人に対する寄付については、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられております。

事例

資本金が10億円、年中の所得金額が1億円の場合

- ①一般損金算入限度額Ⅱ(10億円×2.5/1000)+ (1億円×2.5/100) = 250.25万円
- ②別枠の損金算入限度額Ⅱ(10億円×3.75/1000+1億円×6.25/100) × 0.5 = 500万円

したがって、①②の合計額625万円の損金算入が認められます。

講演会延期のご連絡

開催を予定しておりました三月度の講演会は、コロナウィルス感染拡大のため、延期させていただきます。開催日が決まりましたら、改めてご連絡いたします。

- 三月 六日(金) 大阪会場 堂島アバンザ
- 三月十四日(土) 東京会場 中野サンプラザ
- 三月二十八日(土) 東京会場 中野サンプラザ

在家仏教通信

「大法輪四月号」に在家仏教講演会の講演録が掲載されました

通俗道徳と「うき世」の思想

島菌 進  
(上智大学教授)

平成三十一年三月九日中野サンプラザで開催されました連続講演会「宗教と労働」において、島菌進先生よりお話を伺いました。

島菌先生は、上智大学グリーンケア研究所で、グリーンケア人材

養成講座という社会人向けの二年間コースの指導を担当されております。

島菌先生は、宗教と仕事の関係において、歴史的には、プロテスタンティズムに基づく「現世内禁欲」が産業革命による経済発展の原動力となった。そして、日本においては江戸時代より培われた「通俗道徳」が明治維新後の近代化において重要な役割を果たしたと述べておられます。

しかし、資本主義の進展により仕事と生きがいとは乖離し、職業生活では自分の能力を発揮できなくなりまして。そこで、島菌先生は、

ご寄付のお願い

当協会は、東京、大阪にて講演会活動を行っておりますが、その多くは寄附金によって賄われております。講演会の存続のために温かいご支援をお願い致します。協会への寄附金は税制優遇が受けられます。個人様からの寄附と法人様からの寄附について、事例を上げてご案内いたします。

★所得税

所得金額から「寄附金(所得金額